# RS3PST_OCR OF KDコンバート

Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500　FAX：045-442-0501
URL：https://www.kernelcomputer.co.jp

## 製品概要

・ラスターデータを PostScript, PDF データに変換する。
・ラスターデータを OCR し、PostScript, PDF データに変換する。
　・ 出力方法は以下の 3 種類から選択することが可能です。
　　・OCR したテキストと原図を重ねて出力する
　　・OCR したテキストのみ出力する
　　・OCR したテキストと原図を分けて出力する

・Windows フォントを指定し、テキストと合成することが可能です。

・読み込み可能なラスターデータは次のとおりです。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ・BMP | ・CALSG4 | ・CCRF | ・EDMICS | ・FAX |
| ・FORMTEK | ・FX_RASTER | ・GIF | ・GTX_G4 | ・IOCA |
| ・JPEG | ・MH | ・MIEL | ・MMR | ・MR |
| ・NS-G4 | ・PCX | ・PNG | ・PNM | ・SUN_RASTER |
| ・TIFF | ・TOSFILE | ・WBMP | ・XBITMAP | ・XWD |

・出力可能なフォーマット

| | |
|---|---|
| ・PostScript | レベル 1, レベル 2, レベル 2(G4), EPSF, Acrobat 用 PostScript |
| ・PDF | 1.4, 1.5, 1.6, 1.7, 1.7EX3 |

## 動作環境：

Windows 7 (32/64bit)
Windows 8 (32/64bit)
Windows 8.1 (32/64bit)
Windows 10 (32/64bit)
Windows 11 (64bit)
Windows Server 2008 (32bit)
Windows Server 2008 R2
Windows Server 2012
Windows Server 2012 R2
Windows Server 2016
Windows Server 2019
Windows Server 2022

## 価格：

35 万(税抜き)

# １．基本操作

・ラスターデータを PS､PDF データに変換するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
実行モジュール名　　入力ファイル名　-O出力ファイル名　-各オプション
```

・変換実行例：

```
C:¥EXEC> RS3PST_OCR inputdata.tif -Ooutputdata.pdf -Zpdf_out.atr
```

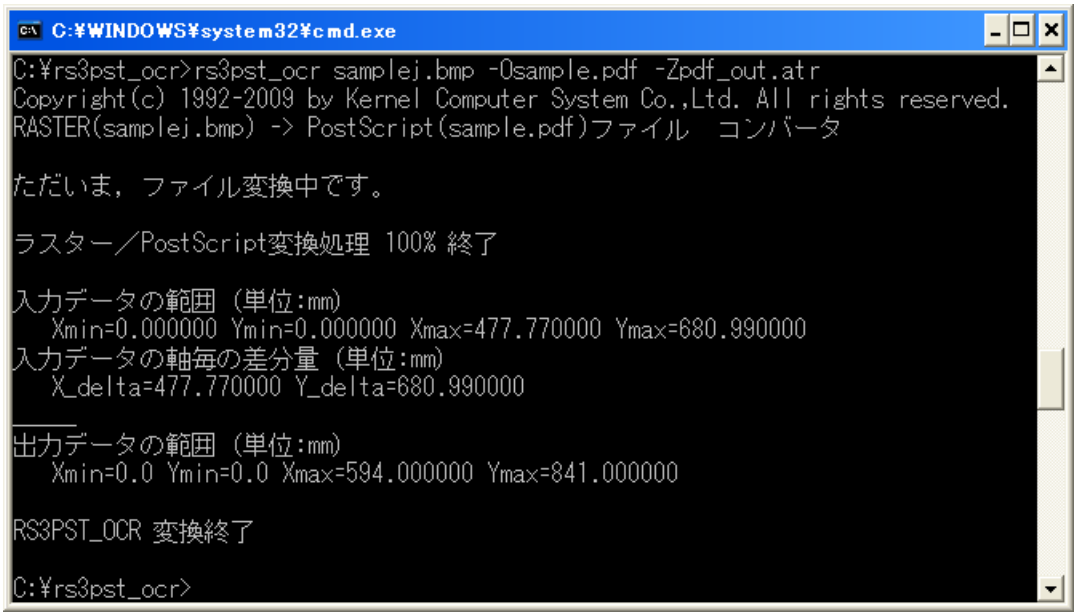
RS3PST_OCR　　：実行モジュール名
inputdata.tif　：入力するラスターファイル名
outputdata.pdf ：出力する PDF ファイル名

-O　　：変換結果を出力するファイル名を指定するオプション。
　　マイナス記号とアルファベットの「オー」です。
　　-O と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。
　　変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じものを指定することはできません。

-Z　　：出力属性パラメータファイル名を指定するオプション。

※ オプション指定は大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。
※ オプションの詳細についてはオプションの項目を参照ください。

・コマンドプロンプトでの実行画面：



## ２．OCR 処理機能について

イメージの文字は、そのままでは選択したり、コピーしたりできません。
イメージを OCR(文字認識)処理してテキストデータ(PS,PDF 形式)に変換すると、その結果に対して、
検索やコピーといった処理ができます。
本製品の OCR 機能の実現には、メディアドライブ株式会社の「活字文書 OCR ライブラリ」を使用しています。

・処理の手順は、次のようになります。
① OCR 処理用属性ファイルに OCR 処理の各種パラメータを指定します。
② "-RAS_OCR", "-SAVE_OCR", "-IMAGE_OCR"等の OCR 処理用オプションを指定して、変換処理を実行します。

・変換実行例：

```
C:¥EXEC> RS3PST_OCR inputdata.tif -Ooutputdata.pdf -Zpdf_out.atr -RAS_OCR -SAVE_OCR0
-IMAGE_OCR1
```

-RAS_OCR[Atr_name] ：OCR 処理を行います。
Atr_name ： OCR 処理用属性パラメータファイル(初期値：ocr_in.atr)

-SAVE_OCR[n] ：出力ファイルの保存方法を選択します。
N = 0： ラスターデータ + OCR 文字列 → 同一ページ(初期値)
表示しているラスターデータと OCR 変換した文字列を同一ページに出力します。
1： ラスターデータ(1 ページ目) + OCR 文字列(2 ページ目)
表示しているラスターデータを出力ファイルの 1 ページ目、OCR 変換した文字列を 2 ページ目に出力します。
2： OCR 文字列
OCR 変換した文字列のみを出力ファイルに出力します。

-IMAGE_OCR[n] ：ラスターデータと OCR 文字列を同一ページにするときにイメージを前面にする、テキストを前面にするのどちらかを選択します。
0： イメージを前面(初期値)
1： テキストを前面

・OCR 処理属性ファイル設定サンプル：

```
#symbol height_scale & width_scale & space(unit:mm)
OCR_SYMHT = 0.9
#OCR_SYMWD = 1.0
#OCR_SYMSP = 0.0
# Text output mode (0:word(default),1:stream)
TEXT_MODE = 1
# Text color pen number (1(default))
OCR_COLOR = 5
DICTIONARY_DIR = C:¥rs3pst_ocr¥PatDict¥
#LANGUAGE = 1
JAPANESE_MODE = Y
LEFT_X = 10
LEFT_Y = 10
RIGHT_X = 210
RIGHT_Y = 100
```